

ニッ箭山山行報告

【山行日】2017年 11月 3(金) 晴れ
【集 合】栃木市運動公園P AM 6:00
【費 用】マイカー1台 : 3,200円
【メンバー】CL: 鈴木、岩淵、関、藤原、松館、渡辺
【コースタイム】栃木市運動公園P6:00=ニッ箭山登山口 P8:35/8:50~御滝 9:20~×張場 9:40~女体山 10:30/10:50~ニッ箭山 11:10~月山 11:30/12:10~ニッ箭山登山口P13:10/13:20=背戸岨廊 13:40/15:10=栃木市運動公園P16:55



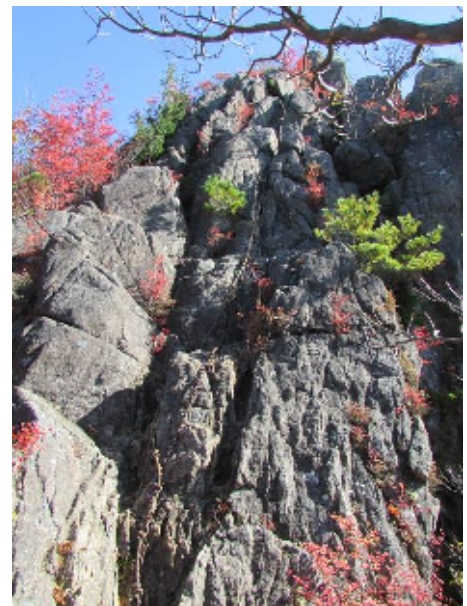
子持山に登る予定だったが、登山口への林道が崩落し通行止めの為行き先をニッ箭山に変更した。常磐道いわき中央 IC を降り、そのまま道なりに直進し国道399号に出たら左折し10分程で駐

車場に着く。駐車場は広くキレイな水洗トイレが完備されている。準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行ってから出発する。駐車場から階段を登り、国道399号を右に少し歩いたカーブの所を直進し、民家の脇を進むと月山への分岐に出る。分岐を左に進み沢沿いの道をたどって御滝に着く。

御滝から尾根コースと沢コースに分かれ、我々は沢コースを選択し進む。苔むした岩に付けられた鉄の足場や鎖を頼りに登る楽しいコースだ

が、道が分かりにくく山慣れない人には難しいコースだ。

しばらく沢の中に付けられた道を遡ると、十字路となる×張場に着く。ここから沢コースから離れ、左手の急斜面を登って行く。クサリ場を越えて尾根上に出た平らな場所で小休止し、リンゴや菓子を食べエネルギーを補給する。この上で再びコースが分かれ、左が岩場コースと書いてあるが、ここは右の一般コースを進む。尾根を巻くように進み、大きな岩の下をトラバースして進むと男体山直下の長いクサリ場の下に出る。急峻な岩場を30mのクサリで登ると、男体山と女体山の鞍部に立つ。長いクサリ場は高度感があり、SさんとI 淵さんは喜んでいましたが W さんは怖がっていた。ここからさらに岩場が続き、15mのクサリ場を登り切ると女体山の頂上に着く。山頂からは360度の大パノラマが広がり、爽快極まりない景観だ。ドウダンツツジやカエデの紅葉が素晴らしく、



「スーさん素晴らしい山だよ！」と喜んでいて、山頂にある方向指示盤を見ながら山座同定を楽しみ、一段下のベンチでリンゴを食べながら紅葉を楽しむ。ここからも岩場の多い樹林帯の稜線を進み、

沢コースへの分岐を右に分け少し登ると山頂への分岐となり、左にほんのひと登りでニッ箭山山頂に着く。



山頂は三角点と標識があるだけで、樹林に囲まれ眺望は得られない。記念写真を撮ったら分岐まで戻り、左に進んで月山に向かう。月山山頂には岩の上に月山神社が祀られ、北西側が開けて男体山や女体山の眺望が素晴らしい。ここでランチタイムとし、キノコうどんを作ることにする。温かいうどんとお稲荷さん、ハヤトウリの煮つけやキュウリの漬物などを美味しくいただいた。昼食を食べたら月山神社の前で記念写真を撮り下山する。月山から南に少し下ると分岐に

出て、道標に従って右に駐車場へ向かって下って行く。奇岩や展望が良い岩などを見ながら、急な尾根を下ると往路の分岐に出て、往路を左に進むと駐車場に着く。靴を履き替えトイレを済ませ帰路につく。帰りは背戸岨廊に寄り、登山口から溪谷沿いを30分歩き来年の下見をする。背戸岨廊から夏井川溪谷沿いに走り、所々車を止めて紅葉を楽しみながらドライブする。小野 IC からあぶくま高原道を走り、矢吹 IC から東北道に乗り栃木に向かい予定通り栃木市運動公園へ帰着した。

